

警防關係

警防関係

1 消防体制

消防隊等は、火災、その他の災害による被害を最小限にとどめるため、知識の習得及び技術の練磨を重ねて、災害に備えています。

また、各種災害において適切な警防活動が展開できるよう、災害の防止に関する研究の成果や、現に発生した災害の状況に加え、過去の災害における活動の結果等を勘案して作成した合理的な出動計画に基づく出動指令により出動し、被害軽減のため迅速、的確な防ぎよ活動を展開しています。

<警防活動上の心得>

- 火災出動に際して、優先通行権等は慎重に行使し、交通事情を十分考慮して事故防止に細心の注意を払うこと。
- 現場においては、消防隊相互の担当面を考慮し、的確敏速な防ぎよ活動を行うこと。
- 現場においては、特に火災態様の把握に努め、危険物品の爆発、燃焼物の倒壊、煙、ガスの発生等による隊員の危険の防止に細心の注意を払い、危険を察知したときは、適切な処置を講ずること。

2 救急体制

救急隊は、平成 20 年 2 月から運用開始となった水口消防署土山分署第 3 救急分隊を含めた 8 隊を運用しており、全救急隊に救急救命士（全救命士数 53 名）を配置し、メディカルコントロール体制（医師による医学的な観点から、救急救命士等が行う応急処置等の質の確保及び評価を行い、救急活動の質の向上を図るための体制）のもと、救命率のさらなる向上に取り組んでいます。

<救急隊員の心得>

- 救急業務の実施に際しては、懇切丁寧を基本とし、言動に留意すること。
- 救急業務で知り得た秘密をみだりに他に漏らさないこと。
- 常に身体及び着衣の清潔保持に努めること。

3 救助体制

火災現場で逃げ遅れた人、交通事故で車内に閉じ込められた人、工場等で作業中に機械に挟まれた人などの救出に備えて、救助活動に専従する消防特別救助隊 2 隊と救助活動を兼任する消防救助隊 3 隊を配置し、各種災害に的確に対処できるよう、救助技術の練磨に努めています。

更には、水難事故に対処できるよう平成 10 年 10 月 1 日に水難救助隊、山岳事案に対処できるよう平成 30 年 4 月 1 日に山岳救助隊を発足し、知識の習得及び技術の練磨を重ね、災害の発生に備えています。

<救助活動の心得>

- 多数の要救助者があるときは、危険の大なる方から救助すること。
- 複合した障害があるときは、緊急性の高いものから排除すること。
- 隊員は、任務分担を遵守し、救助技術を効率的に発揮すること。

4 消防機関の出動状況

(令和4年中)

回数等	種別	火災	風水害等	救急	救助	演習・訓練	広報・指導	特別警戒
出動回数		72※	1	6,497	95	15	2,518	1
出動延人数		1,232	3	19,509	987	74	5,912	3

※本年報内で火災件数は73件となっていますが、火災発生後、出火行為者が消防への通報を怠り消防覚知が令和5年となった事案が1件あるため、出動件数は72件となっております。

5 消防車両配置状況

甲賀広域行政組合消防本部においては、消防ポンプ自動車、化学消防車、はしご車、救急車など38台の消防機動力を有しており、配置状況は次のとおりです。

(令和5年3月31日現在)

種別	所 属			甲 南 消防署	甲 賀 分署	信 楽 消防署	湖南中央 消 防 署	湖南石部 分 署	合 計
	消防本部	水 口 消防署	土山分署						
消防ポンプ自動車	0	0	0	1	1	1	0	0	3
水槽付消防ポンプ自動車	0	1	1	1	0	1	1	1	6
はしご付消防自動車	0	0	0	0	0	0	1	0	1
化学消防車	0	1	0	0	0	0	1	0	2
救助工作車	0	1	0	0	0	0	1	0	2
積載車	0	0	0	1	0	0	0	0	1
消防指令自動車	0	1	0	1	0	1	1	0	4
消防指揮支援自動車	1	0	0	0	0	0	0	0	1
消防査察自動車	1	0	0	0	0	0	0	0	1
消防支援自動車	1	0	0	0	0	0	0	0	1
救急自動車	0	1	2	1	1	1	1	1	8
非常用消防自動車	1	0	0	0	0	0	0	0	1
非常用救急自動車	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他の自動車	2	0	1	1	0	1	1	0	6
合 計	7	5	4	6	2	5	7	2	38

消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防自動車	化学消防車
			
救助工作車	積載車	消防指令自動車	消防指揮支援自動車
			
消防査察自動車	消防支援自動車	救急自動車	その他の自動車
			

6 消防車両等配置別性能状況

所属名	車 両	登録番号	登録年月	車 名	ポンプ級別	備 考
消防本部	その他の自動車	滋賀 300 や 8385	平成 23 年 1 月	トヨタ		
	非常用消防自動車	滋賀 88 す 4682	平成 7 年 12 月	日野	A 2	水 1,500ℓ
	非常用救急自動車	滋賀 800 す 1864	平成 23 年 11 月	トヨタ		
	消防指揮支援自動車	滋賀 800 す 700	平成 21 年 11 月	トヨタ		
	消防査察自動車	滋賀 800 さ 9208	平成 19 年 10 月	トヨタ		
	消防支援自動車	滋賀 800 す 5594	平成 30 年 12 月	三菱		
	その他の自動車	滋賀 580 ゆ 5740	平成 26 年 7 月	スズキ		
水口消防署	水槽付消防ポンプ自動車	滋賀 800 は 847	平成 23 年 1 月	日野	A 2	水 1,500ℓ(緊)
	化学消防車	滋賀 830 す 1802	平成 30 年 2 月	日野	A 2	水 1,300ℓ/薬 500ℓ
	救助工作車	滋賀 800 は 351	平成 15 年 12 月	日野		II 型(緊)
	消防指令自動車	滋賀 800 す 5127	平成 30 年 1 月	トヨタ		
	救急自動車	滋賀 830 す 1901	令和 元年 11 月	トヨタ		
土山分署	水槽付消防ポンプ自動車	滋賀 800 は 1144	平成 28 年 1 月	日野	A 2	水 2,000ℓ(緊)
	救急自動車	滋賀 830 せ 1710	平成 29 年 10 月	トヨタ		
	救急自動車	滋賀 800 す 799	平成 22 年 1 月	トヨタ		
	その他の自動車	滋賀 480 け 357	平成 23 年 2 月	ホンダ		
甲南消防署	消防ポンプ自動車	滋賀 830 さ 2202	令和 4 年 2 月	日野	A 2	水 600ℓ
	水槽付消防ポンプ自動車	滋賀 800 は 1018	平成 26 年 1 月	日野	A 2	水 2,000ℓ
	積載車	滋賀 800 さ 4883	平成 15 年 1 月	トヨタ		(緊)
	消防指令自動車	滋賀 800 す 4218	平成 28 年 2 月	トヨタ		
	救急自動車	滋賀 800 さ 2302	令和 5 年 2 月	トヨタ		
	その他の自動車	滋賀 480 つ 1468	令和 2 年 3 月	ダイハツ		
甲賀分署	救急自動車	滋賀 800 す 3637	平成 26 年 11 月	トヨタ		(緊)
	消防ポンプ自動車	滋賀 88 す 7092	平成 9 年 11 月	三菱	A 2	
信楽消防署	消防ポンプ自動車	滋賀 830 す 2303	令和 5 年 3 月	日野	A 2	水 600ℓ
	水槽付消防ポンプ自動車	滋賀 830 さ 1701	平成 29 年 1 月	日野	A 2	水 2,000ℓ
	消防指令自動車	滋賀 800 す 4217	平成 28 年 2 月	トヨタ		
	救急自動車	滋賀 800 す 2493	平成 24 年 11 月	トヨタ		
	その他の自動車	滋賀 480 さ 3657	平成 25 年 7 月	ダイハツ		
湖南中央消防署	水槽付消防ポンプ自動車	滋賀 800 は 965	平成 25 年 2 月	日野	A 2	水 1,500ℓ(緊)
	はしご付消防自動車	滋賀 800 は 1281	平成 30 年 10 月	日野		30m級
	化学消防車	滋賀 800 は 1145	平成 28 年 1 月	日野	A 2	水 1,300ℓ/薬 500ℓ
	救助工作車	滋賀 830 す 2012	令和 2 年 12 月	日野		II 型
	消防指令自動車	滋賀 800 す 3505	平成 26 年 9 月	トヨタ		
	救急自動車	滋賀 830 さ 1902	令和 元年 11 月	トヨタ		
	その他の自動車	滋賀 480 さ 3658	平成 25 年 7 月	ダイハツ		
湖南石部分署	水槽付消防ポンプ自動車	滋賀 800 は 1209	平成 29 年 3 月	日野	A 2	水 1,500ℓ
	救急自動車	滋賀 830 せ 2111	令和 3 年 11 月	日産		(緊)

※ (緊) 緊急消防援助隊登録車両

7 消防機械器具保有状況

(令和5年3月31日現在)

区分	名称	数量	区分	名称	数量	区分	名称	数量
消火用資機材	65 mmホース	475	検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	6	検索用器具	簡易画像探索器	2
	50 mmホース	174		有毒ガス測定器	6		無人航空機	1
	40 mmホース	77		酸素濃度測定器	6			
	ジェットシューター	104		放射線測定器	32			
	小型可搬ポンプ	6	呼吸保護用器具	空気呼吸器	67	高度救助用器具	熱画像直視装置	4
かぎ付きはしご	15	酸素呼吸器		5				
三連はしご	12	簡易呼吸器		4				
金属製折りたたみはしご	3	防塵マスク		11				
一般救助用器具	空気式救助マット	2		送排風機	2	その他の救助用器具	投光器	23
	救命索発射銃	2	隊員保護用器具	耐電手袋	33		携帯投光器	62
	サバイバースリング又は救助用縛帯	16		耐電衣	4		携帯拡声器	38
	平坦架	5		耐電ズボン	4		携帯無線機	32
	油圧ジャッキ	2		耐電長靴	19		応急処置用セット	2
	可搬ウィンチ	6		防塵メガネ	5		車両移動器具	2
	ワイヤーロープ	31		携帯警報機	53		緩降機	2
マンホール救助器具	3	防毒マスク		36	ロープ登降機	7		
重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ一式	2		化学防護服	18		発電機	20
	救助用支柱器具	2		陽圧式化学防護服	12	主な救急用資器材	心電計	9
	大型油圧スプレッダー	7		耐熱服	4		自動人工呼吸器	9
	チェーンブロック	1		放射線防護服	2		手動式人工呼吸器	9
	エンジンカッター	5	水難救助用器具	潜水器具一式	11		半自動除細動器	9
	ガス溶断器	2		救命胴衣	204		輸液用資器材一式	9
	空気切断機	2		水中投光器	22		酸素吸入器一式	9
	チェーンソー	5		救命浮環	13		血中酸素飽和度測定器	9
鉄線カッター	18	浮標		6	携帯型酸素吸入装置		9	
空気鋸	4	救命ボート		5	吸引器	9		
大型油圧切断機	6	船外機		1	バックボード一式	17		
コンクリートチェーンソー	1			登山器具一式	2	スクープストレッチャー	9	
破壊用器具	万能斧	22	山岳救助用器具	バスケット担架	5		アイソレーター	2
	ハンマー	7			パーティカルストレッチャー	2		
	携帯用コンクリート破壊器具	3			G P S	3		
	削岩機	2						
	ハンマドリル	3						

8 消防水利の設置状況

消防水利は、「消防水利の基準」に基づいて、各市別に整備されているもので、その状況は次のとおりです。

なお、この整備に関しては、毎年各市別に実態調査が行われ、消火栓のみに偏在することなく、地域の実態に応じた消防水利の整備に努められています。

区 分		甲 賀 市					湖 南 市	合 計
		水口町	土山町	甲南町	甲賀町	信楽町		
消火栓	公 設	1,323	470	660	629	596	1,424	5,102
防火水槽	40 m ³ 未満	28	2	34	23	17	0	104
	40 m ³	89	97	47	82	61	168	544
	41～59 m ³	4	0	4	6	1	0	15
	60 m ³	4	0	0	0	0	2	6
	61～99 m ³	1	0	4	6	0	0	11
	100 m ³ 以上	0	1	3	1	1	1	7
	小 計	126	100	92	118	80	171	687
その他（河川・溝・池等）		204	102	117	147	174	244	988
合 計		1,653	672	869	894	850	1,839	6,777

